

繪本小倉錦

六

6





旅道信船  
 明船はくち  
 を成 りのし  
 うやーきさ  
 わさほきさ  
 かゆさほよつさ  
 な げん ぼん  
 あさほきさ

喜ば  
 喜ば  
 喜ば

押法百人着

浮のあしとさきまけてこれゆきさきさゆき人  
 小あえんれはけさささささささささささ  
 ささささささささささささささささささ  
 ささささささささささささささささささ  
 ささささささささささささささささささ

△着





後園二母  
 五月三日のめま  
 けりて まてか  
 けりてのめまを  
 いちにもくれ

女よ花

あまのこころよ  
 けりてのめまを  
 いちにもくれ  
 けりてのめまを  
 いちにもくれ  
 けりてのめまを  
 いちにもくれ







合音

六、六



茶末武部

先くりあひて見や  
 愛くれ それも  
 よすの月れ まふ

鶴のおより くまれ

愛くれ

よすの月れ

お女様

愛くれはしおすの月れふんふんふん  
 ともねんもいねいねいねいねいねいねいね  
 ろくはあとりるるるるるるるるるるるるるるるるる  
 月の愛くれおよりおよりおよりの  
 月の愛くれおよりのおよりのおよりの

お女様ともいへし

お女様のいへし



看

六  
七



大郡三位  
あり酒山の流石東  
そよよ人子  
わはまやんま

わはまやんま  
そよよ人子  
わはまやんま

女  
の  
孫

ありまの流石東  
そよよ人子  
わはまやんま







小武内侍  
大江の舟にのりて  
あまのこを  
あまのこを  
あまのこを

あまのこを  
あまのこを  
あまのこを

子の意

小武内侍のこゝろのすゝめたる  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて  
あまのこをのりて









x-rite ColorChecker® Color Rendition Chart